

Inter BEE 2019

各社ブース
見どころ

営 電

営電は、「全世界でシタル・アナログ放送方式対応」をテーマ

に、昨年12月にスター「新4K8K衛星放送」をテーマとした「新4K8K衛星放送」関連対応装置、米国次世代放送デジタル規格(ATSC 3.0)対応装置や放送局向け4K伝送装置、チューナーなどの開発・再生可能な「4ダイ

生産に必要な不可欠な製709B」を展示。対応BER測定器「7品として、NHKの協TV開発・生産用製YA&プレイヤー：44力で製品化したARI品の「DTVマルチシ22A」や「超小型RF BSTD-B442ステム信号発生器：Mキャプチャ&プレイヤー」は、1版準拠、ストリーSD5000A」は、1：4420A」などの再生部やフレーム構全世界デジタルTV方のRFキャプチャ&成・符号化変調部、ア式(日本・ブラジル・レヤ)製品も出展。

欧州・米国・中国各方フジテレビと共同開発した「SDI-Hyper」や、3系統のTS入力を装備し、MPEG2-TSに多重

新4K8K衛星放送 多彩な各種製品紹介

置、FM放送用簡易測定装置、局用モニター装置など、多彩な製品を紹介する。

DB-1S3(高度化B AT V・モバイルなS)信号発生器：32ど)のみならず、韓国の解析などが可能で地上波デジタル放送(I

I SDB-S3信号発生器 「3260A」

プースでは、新4K 8K衛星放送に対応し、来年の東京五輪・パラリンピックに向けて生産が本格しているテレビなどの受信機、A」、ISDB-S3系統のRF信号を記録する。

LMVストリーム生成とされ、米国内でも近年MMT/TLVストリア実放送が検討されている「3566A」や、MMTの解析や受信機能もオプシヨ可能。数年後に実現予定の「地上4K8K放送」な「MMT・TLVスン方式で対応可能」の関連装置などを展示。

テーシヨン：1708 世界初の1筐体で4の関連装置などを展示する。